

## 11. 10 稲盛財団京都賞受賞式 抗議宣伝行動 おこなわれる

11月10日午後、京都市左京区の国立京都国際会館で稲盛財団「第31回京都賞受賞式」がおこなわれ、授賞式開催時間に合わせてJAL原告団と「日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議」（略称・JAL闘争京都共闘）は稲盛和夫・JAL名誉会長への申し入れと抗議宣伝行動をおこないました。この京都賞授賞式は稲盛財団が毎秋実施し、内外の学者・文化人3人に各5千万円もの賞金を授与する催しで、稲盛和夫JAL名誉会長にとっても、年間最大イベントです。

地下鉄から上ってきて授賞式会場・国立京都国際会館に向かう地点で、JAL不当解雇撤回争議団・内田妙子団長はじめたくさんの原告団や「JAL闘争京都共闘」に結集するたくさんの労組や「JAL闘争を支える京都の会」の仲間がビラ配布と抗議宣伝行動をおこないました。



今回は国際会館の責任者という人が現れ、「ここは私たちの所有地だから」と地下鉄出口で横断幕を掲げることやマイクを使うことを阻止し、京セラの社員や国際会館の職員が宣伝行動を妨害しようとしてきました。しかし、私たちは地下鉄出口のすぐ横にハンドマイクを置き、JAL争議団を始め、全国一般、全印総連、自治労連、JMUI、JAL闘争を支える京都の会、明治乳業争議団などたくさんの支援の仲間が激励・連帯のあいさつをおこないました。

40分ほど宣伝したところで、JAL争議団の内田団長、鈴木圭子副団長、京都総評・梶川憲議長、JAL闘争京都共闘・稲村守事務局次長などで、稲盛和夫JAL名誉会長あての争議解決を求める要請書を提出に会場に向かいました。途中で京セラ社員のT氏が行く手を阻み、「私が申し入れを受け取る」というので、内田団長が「解雇問題について解決する決断を下すべきであること」などの申し入れ文書を全文読み上げ手渡しました。



(ウラ面に続く)



その間、少し離れたところで、トランシーバーを持った男がずっと誰かと話していました。T氏が「稲盛会長に手渡すように」という梶川京都総評議長の申し入れに確約したので、最後、JAL争議団・鈴木副団長の発声で稲盛名誉会長に届く大きなシュプレヒコールで抗議宣伝行動を終えました。

## JAL闘争を支える京都の会・交流会

京都賞授賞式抗議宣伝行動をおこなった11月10日の夜、JAL争議団・副団長の鈴木圭子さんをお招きして「JAL闘争を支える京都の会・交流会」を京都市内でおこないました。鈴木さんよりJAL闘争の状況について報告していただき、原告団がアルバイトをしているので、活動しにくくなっているなどの話がありました。

報告後、懇親会をおこない、参加者一人一人が自己紹介とJAL不当解雇撤回闘争への思いなどを述べました。



## 第4回 京都団結・交流まつり

11月23日、「第4会 京都団結・交流まつり」が京都市南区の六孫王神社で開かれ、多くの人を訪れました。JAL原告団の方も物販の模擬店を出し、またステージからアピールを行いました。ステージの写真はJAL原告団の方々が「あの空へ帰ろう」を合唱しているところです。



「JAL闘争を支える会」の会費更新を忘れずをお願いします。案内が自宅に着いているはずです。